

講座名	緑を楽しむ講座 千葉 「森の生き物の相互関係」		
開催日時	2024 年 3 月 2 日 (土) 9 時 30 分～11 時 30 分		
開催場所	千葉市民会館	一般参加者	20 名

活動概要

「森の生き物の相互関係 ～菌類、植物、昆虫を中心として～」というタイトルで菌類と植物、菌類と昆虫、菌類と線虫の相互関係について話をしました。

菌類が起こす植物の病気（うどんこ病、さび病、スギ溝腐れ病）、植物と菌類が作る菌根、菌類に栄養を依存する菌従属性栄養植物（シャクジョウソウ、タヌキノシヨクダイ、ラン科植物）について説明を行いました。タシロランはイヌセンボンタケと共生させることで種子の発芽から開花まで、半年であった実験結果であったことを紹介しました。

また、葉緑素を持つものでもキンランやサイハイランは菌類から栄養をもらわないと生長しない部分的菌従属栄養植物であることを説明しました。

菌類と昆虫の関係では、キバチと菌類、スズメバチ類とシラタマタケ、養菌性キクイムシとアンブロシア菌、カシナガとナラ菌によるナラ枯れの概要、冬虫夏草（有性世代と無性世代の違い、ゾンビアリ）の話をしました。

菌類と線虫の関係では線虫が起すヒラタケの病気（ヒラタケ白コブ病）、キノコに付く線虫、線虫を食べるキノコ（サケツバタケ、ササクレヒトヨタケ）、ワナを作って線虫を捕える線虫捕食菌類などの話題について述べました。



タシロラン

イヌセンボンタケ

F I C 講師：平尾 スタッフ、オブザーバー：9名

サイトの記事・画像等の無断転載は禁じます。

（作成：平尾）ver2021）